

令和6年第33回定例公安委員会会議録

開催日時 令和6年11月14日（木）午後0時15分～午後2時43分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時33分

2 出席者

公安委員会 勝部委員長 久本委員 笠田委員

警察本部 野村警察本部長 森本警務部長 宮田首席監察官
細田生活安全部長 前田刑事部長 山本交通部長
樋口警備部長 濱本警察学校長 坂口情報通信部長
河村黒坂警察署長 吉村警務部参事官

（事務局等～岩城公安委員会補佐室長、総務課員）

3 議題事項

4 報告事項

- 鳥取県被害者支援フォーラムの開催（警務部）
- 11月補正予算案（警察関係）の概要（警務部）
- 年末及び年始における特別警戒取締りの実施（生活安全部）
- 鳥取県警察手数料条例の一部改正（交通部）
- 令和6年度中国四国管区広域緊急援助隊合同訓練への参加（警備部）
- 黒坂警察署の取組（活動）状況（黒坂警察署）

（1）鳥取県被害者支援フォーラムの開催（警務部）

警察本部

鳥取県被害者支援フォーラムは、社会全体による被害者支援の必要性について県民の理解を深めることを目的に、平成20年から毎年開催しており、今年で16回目の開催となる。開催場所は、県下持ち回りとしており、本年は、鳥取市の「とりぎん文化会館小ホール」において、11月29日午後1時30分から開催予定となっている。主催は、犯罪被害者等早期援助団体である公益社団法人とっとり被害者支援センターであり、共催は鳥取県と鳥取県警察である。広く県民への参加を呼び掛けるほか、鳥取県犯罪被害者支援連絡協議会に参画する関係機関、自治体職員、各警察署に対しても参加を呼び掛けることとしており、約200人程度の来場を見込んでいる。開催内容については、主催者等挨拶のほか、平成9年に兵庫県神戸市で発生した、連続児童殺傷事件により、当時11歳だった息子さんを殺害された御遺族である土師守氏による講演、警察音楽隊による演奏を予定している。司会は昨年引き続き、犯罪被害者支援大学生ボランティアの方に務めていただく予定である。また、会場入口付近では、犯罪被害者自助グループ「なごみの会」による「いのちのパネル展」も同時開催することとしている。

委員

犯罪被害者支援について、多くの県民にとっては、なかなか自分ごととして捉えられない内容だと思うが、広く県民の理解を深めることが重要だと思うので、可能な限り、一般の方も来場してもらえそうな広報をしていただけたらと思う。

委員

犯罪被害者の支援に関し、鳥取県では、犯罪被害者総合サポートセンターにおけるワンストップの施策を進めていただいた。当県における犯罪被害者支援が充実してきており、有り難いと感じている。フォーラムの開催目的である、「県民の理解を広めていく」ことは、被害者にとって重要なことだと思う。その点に関し、司会に大学生ボランティアを起用することは良いことであると思う。若い人ほど、犯罪被害者支援に対する意識が希薄であると感じるので、この様な機会に理解を深めていただきたい。

委員

この度、公安委員としてフォーラムに参加させていただき予定であり、犯罪被害者支援について、しっかり勉強させていただきたい。

(2) 11月補正予算案（警察関係）の概要（警務部）

警察本部

県議会11月定例会に提案予定の警察本部関係の予算案の概要について報告さ

せていただく。内容について、1点目は、サイバー犯罪対策課執務室の移設及び解析室整備の費用として、607万円を要求する。昨今のサイバー犯罪、闇バイト、特殊詐欺等への対応について、スマートフォンが関連することが多くなった。早期の予算整備は、こうした犯罪への対応につながることから、来年度を待たずに要求するものである。2点目は、債務負担行為についてであり、県の予算は、通常であれば単年度で計上される場所、複数年度にまたがる事業を実施する際は、契約の締結により、将来発生する負担について、あらかじめその期間と限度額を決めることとされており、このことを「債務負担行為」という。この度、安全運転講習費、警察財産管理費、生活安全活動運営費等について、債務負担行為を設定し、事業を進めていく。

委員

予算を確保し、警察の活動がしっかりと推進できるよう努めていただきたい。

委員

県内においても特殊詐欺被害の件数が増加しており、匿名・流動型犯罪グループ、闇バイトに関連した事案に対する不安も募る中、スマートフォン等の解析は必須の業務であると思う。犯罪に対する対応能力を上げるためにも、予算を確保していただきたい。債務負担行為に関しても、単年度予算では契約がしづらいものもあるとのことで、このとおりに進めていただきたい。

委員

匿名・流動型犯罪グループを撲滅するため、最先端の設備を導入するのは必須のことである。執務室を移設することにより、情報通信部との連携がしやすくなるのであった。国と県警察が連携しながら業務を行うことは重要だと思うので、早期に進めていただきたい。

(3) 年末及び年始における特別警戒取締りの実施（生活安全部）

警察本部

年末及び年始は、金融機関、コンビニエンスストア等を狙った強盗事件の発生や、特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の発生、暴力団の違法・不当な資金獲得活動の活発化のほか、飲酒運転等による重大交通事故の増加が懸念されるところである。これらの各種事件・事故等の発生を抑止し、県民生活の安全と安心を確保することを目的として、本年12月2日から翌年1月5日までの間、特別警戒取締りを実施する。特別警戒取締り期間中を3期に分け、第1期に「広報啓発期間」、第2期に「重点警戒期間」、第3期に「初詣等雑踏警戒期間」を設け、各活動を実施する。期間中は、県下一斉の活動日として、毎月10日の防犯の日、12月15日の年金支給日の2回を設定しているが、本年は、12月15日が日

曜日のため、前々日の13日の支給日に併せて活動したいと考えている。

期間中の主な取組として、各警察署においては、特殊詐欺をはじめとする各種犯罪被害防止の広報啓発活動のほか、金融機関における強盗対応訓練、防犯ボランティア等との合同パトロール等を予定している。また、繁華街や飲食店街における警戒活動・取締りをはじめ、金融機関やコンビニエンスストア等への立ち寄りを強化することとしている。さらに、本年は首都圏を中心に、いわゆる闇バイトによって募られた者による強盗事件等が発生していることを踏まえ、深夜帯における住宅地周辺の警戒や積極的な職務質問、犯罪に加担させないための相談、被害防止に関する広報などについても積極的に行っていくこととしている。県民に安全で平穏な年末年始を迎えていただくため、各種取組を積極的に推進していく。

委員

年末年始は、普段と違った生活スタイルになることが多く、犯罪等が発生しやすい期間である。県民が安心して年末年始を迎えられるよう、警戒等をお願いする。

委員

昨今、匿名・流動型犯罪グループ、闇バイト等の犯罪に関する報道が多くなされており、日本での犯罪の種類が変わったと感じている。無慈悲で凶悪な事件が起きており、国民・県民の体感治安を悪化させている印象である。こうしたイメージを払拭するべく、警戒をお願いしたい。併せて、警察だけでは対処できる範囲が限られていることから、金融機関、コンビニエンスストア、スーパーマーケット等と連携を図り、安全・安心な鳥取県を守っていただきたい。

委員

匿名・流動型犯罪グループによる強盗事件等が全国的に発生しているが、当県でも発生する可能性があると思う。年末年始に向けて、しっかりと対策を行い、県民の安全・安心を守っていただきたい。

(4) 鳥取県警察手数料条例の一部改正（交通部）

警察本部

鳥取県警察手数料条例の一部改正について、運転免許証の取得・更新等に伴う手数料徴収額に関する道路交通法の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備等及び経過措置に関する政令が公布されたことに伴い、鳥取県警察手数料条例に規定している免許取得等の事務に関する手数料額を、政令と同様とする改正を行う。手数料額の改定には、定期改定と随時改定があり、定期改定は原則3年ごと、随時改定は道路交通法の改正に伴う手数料徴収事務の新設などによ

り行われている。この度の手数料額の改定は、定期改定と道路交通法一部改正によるマイナンバーカードと運転免許証の一体化に伴う新たな事務の発生による随時改定の両方によるものである。道路交通法第112条に、免許等に関する手数料について、政令で定める額を標準として、都道府県が条例を定めなければならないと規程されていることから、手数料条例の一部改正を行うものである。条例改正する手数料について、新たに手数料を徴収するものについては、マイナンバーカードと運転免許証の一体化に伴う特定免許情報の記録など、新たな事務の発生によるものである。マイナンバーカード一体化に伴い、免許証の保有形態が、これまで通り免許証だけを持つのか、マイナンバーカードに運転免許証の有効期限や条件、保有する免許の種類、免許証番号といった、特定免許情報を記録したマイナ免許証だけを持つのか、あるいは従来の免許証とマイナ免許証の2枚を持つという、3つの形態から選択することになり、このような経緯から、手数料額が新設されたものである。マイナ免許証を所持すれば、優良運転者、一般運転者は、更新時講習がオンラインで受講できるため、対面での講習とオンライン講習の手数料の細分化がなされる。既存の手数料の改定については、運転免許試験の実施等に伴う事務に関するものであり、前回の定期改定以降に消費税が8パーセントから10パーセントに引き上げられたことのほか、物価高騰により、機器調達、人件費の上昇により全体的な手数料が上昇している。一方で、マイナ免許証の運用により、免許証のカード代や免許証を作成するための装置代が不要となり、従来の免許証発行よりも安価となり、県民の利便性の向上や負担軽減につながる。

今後の予定としては、11月定例会で審議し、議決後に改正条例を公布する。施行日については、マイナンバーカードと運転免許証の一体化の運用開始同日である、令和7年3月24日を予定している。手数料額の細分化によって、事務が複雑になるが、手数料の誤徴収や不適正事案が発生しないよう、職員に対する教養を徹底していく。

委員

手数料について、必要に応じて見直しされるのは当然のことであるが、様々なケースを想定しながらの設定で、現場の方々は大変だと思う。マイナンバーカードの過渡期と捉えられる時期であり、誤徴収のないよう業務に努めていただきたい。

委員

政令の公布とマイナ免許証に伴う改定であり、しっかりと対応しなければならないと思うが、マイナンバーカードに限らず、電子化への過渡期である。煩雑な事務であり、教養もしっかりとされるとのことであるが、ミスのないように行っていただきたい。また、県民の方に理解していただきながら進めていただきたい。

委員

改定に伴う事務が煩雑であり、大変だと思うが誤徴収のないよう、適正に対処

していただきたい。

(5) 令和6年度中国四国管区広域緊急援助隊合同訓練への参加（警備部）

警察本部

広域緊急援助隊合同訓練の目的は、近年多発する大雨、台風による被害や大規模地震による被害を想定した実戦的な災害警備訓練を実施することにより、各部隊の練度の向上、部隊間相互及び防災関係機関との連携強化を図ることであり、例年、中国四国管区内各県持ち回りで開催している。今回の訓練では、救出・救助技能の向上、災害現場における隊員の安全管理能力の向上、現場指揮・調整能力の向上を目標としている。訓練日・場所については、11月14日と15日に島根県安来市内の中海ふれあい公園で実施する。訓練には、警察関係及び陸上自衛隊等の関係機関の合計約320人が参加を予定している。訓練想定は、11月14日未明、島根県において、鳥取県沖合断層を震源とする地震が発生し、建物倒壊や急傾斜地崩落等が多発しており、さらには通行中の車両数台が、崩れてきた土砂やコンクリート塀等に巻き込まれるなど、甚大な被害の発生としている。鳥取県警察の主な訓練項目は、1日目の訓練では、部隊輸送訓練、部隊空輸訓練、映像伝送訓練、救出救助訓練、野営訓練等を実施する。2日目の訓練では、技術訓練、映像伝送を実施する。

委員

激甚災害が多発していることから、関係機関等としっかりと連携し、いざという時の事態に備えていただきたい。

委員

災害が多発しており、特に大雨については、毎年全国どこかで発生している。地震に関しても、今年1月に能登半島で発生しており、南海トラフ地震も発生が懸念されているところである。国民・県民は、こうした災害への対処に必要性を感じていると思う。大規模な訓練を行うことにより、やってみて分かることもあると思うので、しっかりと蓄積し、いざという時に県民を守っていただきたい

委員

多忙な業務の中、訓練もしっかりと実施していただいております、有り難い。体調に気を付けながら、頑張ってください。

(6) 黒坂警察署の取組（活動）状況（黒坂警察署）

黒坂警察署

黒坂警察署長から、管内の概況、鉄道写真愛好家対策、被害者支援への取組、

地域安全活動、多里駐在所新築移転について説明がなされた。

委員

黒坂警察署管内は面積が広く、人口の約半分が高齢者という大変な地域だと思う。高齢化に伴い、高齢者が関連する事案の増加が懸念される場所であるが、今後も地域の実情に応じて対応をお願いしたい。

ひまわりの絆プロジェクトは数年前から始まった取組と記憶しているが、継続的に取り組んでおられ、素晴らしいと思う。

駐在所が新築移転したとのことであるが、地域の警察活動の拠点であるので、地域に根付いた活動を今後もお願いしたい。

委員

黒坂警察署管内は、県下で最もエリアが広く、更には人口密度が低いという事情により、大変苦勞が多いのではないかと感じた。全国的に1人世帯が増えているという数値が公表されており、独居高齢者の安全を守るのは、警察だけでは難しい部分もある。他機関との連携もされていると思うが、これから冬場を迎えるにあたり、更なる連携をお願いしたい。

鉄道写真愛好家は県外の方が多く、来県いただくのは有り難い。しかし、一たび事故等があれば、マイナスイメージが広がりやすいので、違反があった際は、検挙等の措置をしっかりと行っていただきたい。

ひまわりの絆プロジェクトについて、子どもの交通事故はあってはならないことであり、この運動は、子どもたちに交通安全の大切さを伝える良い取組だと思っている。ひまわりの芽を育てながら、子どもたちの安全の芽を育てていただきたい。

黒坂警察署では、限られたマンパワーで、広いエリアの安全・安心を確保しなければならず、非常に大変だと思うが、色々工夫した取組をされており、他機関とも連携しながら頑張っていたいただきたい。

委員

地元の方から愛されていることが良く伝わる報告であった。ひまわりの絆プロジェクトについて、継続して実施されることは大切であり、毎年頑張っていたいただきたい。

高齢者の人口が全体の人口の約半数とのことであり、対策が大変であると思うが、これから冬場を迎えるに当たり、さらに頑張っていたいただきたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取3件について、事案概要、処

分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞2件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

- ・鳥取県警察手数料条例の一部改正
- ・11月補正予算案（警察関係）の概要

4 報告事項

5 決裁

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。